

【平成15年度専修学校ITフロンティア教育推進事業】

事業名	パッケージソフトを利用した業務・データ分析者養成プログラム開発		
学校法人名	学校法人 吉田学園		
学校名	専門学校デジタルステージ札幌		
代表者	理事長 吉田 松雄	担当者・連絡先	菊池 徳雄 011-272-6070
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的IT活用の主役であるバックオフィス系システムにおいては、開発技術者やカスタム技術者も少ない状況であるが、本プロジェクトではERPのカスタマイズやデータウェアハウスの使い方の教材を開発するのではなく、そのようなパッケージソフトを利用することによって実務的に業務やデータを分析する手法や知識を習得するための教育プログラムや教材を開発した。現在の専門学校におけるIT教育で最も実施されていない分野の教育プログラムの開発を目指したものである。本プロジェクト参画専門学校の教員による開発は、パッケージソフト利用の経験不足から断念し、先進的なIT企業の担当者を中心に、教員との連携を密に取りながら行った。</li> <li>・北海道大学大学院と連携して、専門学校の教職員が職業教育の高度化を推進するための調査活動、研究活動を実施した。これは教員の教育力高度化を推進する有望な手段のひとつとして、今後の専門学校の進む方向性に期待を持たせることができるものである。今回の調査・研究活動を通じて、大学研究者と専門学校教職員とのコラボレーションを実現し、専門学校の教職員が職業教育の高度化を推進するための研究活動を、国立大学大学院の研究者レベルで実施することができた。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新日鉄ソリューションズ株式会社、有限会社シンクロジックジャパンの協力を得て、ERPパッケージソフトの運用を通して、企業の事業運営における購買、生産、販売、会計、人事など、顧客に価値を提供する価値連鎖を構成するビジネスプロセスを分析・理解するための入門者向けテキスト『ERP入門』を作成した。</li> <li>・伊藤忠テクノサイエンス株式会社の協力を得て、データ検索・統計解析・多次元分析・データマイニング・最適化解析などのフェーズをデータウェアハウスパッケージの検証型ツールや発見型ツールを使って理解するための入門者向けテキスト『DWH入門』を作成した。</li> <li>・計画書では当初、調査1「MBAにおける業務分析・データ分析教育カリキュラム」、調査2「ERPやDWHに関する現状の企業内教育の内容とカリキュラム」の2つの調査となっていたが、事前協議で、MBAの教育カリキュラムと企業内の教育がどうなっているかの2つの調査を踏まえて、どのような形で専門学校でより高度な教育を行ったらよいか、今後の教育プログラムを考えるベースになるような調査として統合してより深く行った方がいいのではないかと提案があり、調査報告書『経営/IT融合領域教育における現状と課題』として1冊にまとめた。調査では、専門学校におけるERP、DWHなどのIT教育の方向性について、一定のガイドラインを提示することができた。</li> <li>・研究活動は、ERP導入についての組織プロセスに焦点をあてた事例を調査し、トップダウン型の事例とそれ以外のタイプの事例の比較分析を通して、ERP導入の実態とそれに伴うビジネスインテリジェンスの活用について検討した。教育・研究両面において有意義な事例を作成し、同時に日本韓国間の比較分析を行い、報告書『ERP導入と組織プロセスの関係性』としてまとめた。</li> </ul>			